



令和6年7月18日

小田原市立酒匂幼稚園

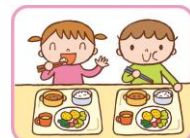
園長 古木 美貴

今年は例年に比べて梅雨入りが遅く、梅雨らしい雨がないまま、ジメジメとした蒸し暑さがやってきました。熱中症警戒アラートが発令される日も多く、目まぐるしい季節の変化に体調が追いつかず、体調を崩す子どもも多く見られました。幼稚園のカブトムシも成虫になり、子どもたちがセミの抜け殻を持って登園する日もあり、あっという間に夏本番です。

年長組は2階での生活をスタートし、この3か月半でとてもしっかりしたように感じます。友達の話を聞いて、自分の思いを伝え、クラスとしての意見をまとめる…生活の中でそのような場面を多くもち、様々な気持ちを感じているようです。年少組は初めての集団生活でのルールを知りながら、安心して園生活を送っています。自分のやりたいことを実現しようと、言葉や態度で伝えようと、できたときの嬉しそうな顔は達成感に満ち溢れています。私たち教師はそれぞれの個性を大事に、園全体で子どもたちを保育していきます。今学期も、幼稚園へのご理解とご協力をありがとうございました。長い夏休み子どもたちとたくさん楽しんでください☆



酒匂幼稚園で目指していく子ども像



健やかな心と体の子

戸外や室内問わず体を動かす気持ちよさを感じる姿がたくさん見られました。暑くなってからは、水分補給の必要さを知らせ、健康な生活のために自ら行動できるようにしています。

考えたことを実行する子

自分の思いを言葉にしたり、形にしたりして表現することを楽しんでいました。何をどのように伝えるか分からない時は、適切な言葉を知らせたり、表現したい事が思うようにならないときは、教師が気持ちを共感したり、友達の様子を見たりしながら一緒に表現を楽しみました。

認め合う子

集団生活の中で、自分と意見の違う子がいることに気が付きます。思いが通じない、気持ちが合うなどの感情を感じながら、他者を認め、理解しようとする姿が見られます。色々な考えと気持ちの受け入れが自然にできています。



透明のホースに水を流すと流れが見えるぞ！スーパーボール流してみただけど、うまくいかないなあ～。こうすればいいんじゃない？

保護者や地域の方とのつながり

幼稚園では地域の方とのかかわりを持ち、地域の方に守られている実感と感謝の気持ちを育んでいます。『小田原の宝』である子どもたちを、地域の皆様が見守り、支えてくださっています。みなさんぜひ、地域の行事に参加してください。「子どもが幼稚園で会ったことを覚えていて声をかけてくれた」と、地域の方が嬉しそうに話をしてくれました。『つながり』って、時に面倒な時もあるかもしれませんが、何かあったとき（災害や困難時）力強く、心強いと思います。地域の幼稚園ならではの出会いを大切にしていきたいです。

そだてやさんのことは、まだまだ現役、鈴木英雄さんと
いつも優しいJA支店長末次さんに手伝ってもらいます。



酒匂中学校に笹竹取りに行き、
稲毛校長先生にしっかりお礼を伝えます。



加藤コーチのサッカー教室は、前半さくら組、後半ほし組の2回戦！



酒匂小学校に笹飾りを届けに行くと、高田校長先生
と教務主任の剣持先生が受け取ってくれました。



シャボン玉で遊ぼう！の先生は保護者OBの方々です。目を細めて子どもたちを温かく見守ってくださいます。



三線クラブ演奏会では、沖縄民謡を歌ってくれたり、紙芝居を読んでもくれました。
「三線は蛇の皮でできているんだよ」と触らせてもらいました。



生き物の飼育や観察を通して

登園後泣いている子に「カメさん見に行く？」と声をかけると涙がピタッと止まり、気持ちが切り替わったり、「餌ください」の言葉を覚えたり、ツバメの赤ちゃんが大きくなるのを喜んだり、カブトムシのさなぎが動いているのを見て驚いたり、生き物の様々な変態に一喜一憂する子どもたちでした。「先生～！」と慌てた様子でその変化をお知らせしてくれる、子どもたちの声やキラキラした目にたくさん出会えた第1学期でした。

あ、なんかいた！ほんとだ！！



かめさん、かわいいね～♡



さなぎが動いてるっ！



あおむしがさなぎになって蝶々になった～！飼う？逃がす？ほし組みんなで相談した結果は…写真撮っておけば忘れないよね、それから逃がしてあげよう。



パンジーに大量発生したツマグロヒョウモンも、次々にさなぎから蝶々になっていきました。さなぎの下にある赤い液体に「血がでたのかな？」とちょっとした変化にも敏感な子どもたちでした。



第1学期を終えて…夏休みに向けて

初めての集団生活と進級で、子どもたちはもちろん、お家の方々も緊張と不安の毎日だったかと思います。信頼して預けていただき、子どもたちも安心して園生活を送ることができました。朝の挨拶も、表情が明るくなり、声が聞かれるようになり、毎日の積み重ねだと感じています。幼稚園では子どもたちが「自分でやってみよう！」とするきっかけをつくっています。子どもが自分のタイミングで第一歩を踏み出したら、そっと見守ってあげてください。そして「すごいね、自分でできるんだね！」と目を見て褒めてあげてください。私たちもお家の方も、子どもたちの応援団です。パリオリンピックで日本を応援するように、子どもたちのがんばりも一緒に応援していきましょう。

